

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	姫路市立花田小学校	研究グループ名 (姫路子どものころを考える会)
	教諭 山口 百枝	

研究テーマ分類番号 (1 3)

(1)研究テーマ
育ちゆく子どもの人権を考える
(2)研究経過及び具体的な取組
○毎月1回の学習会（講師宅にて）で、児童理解のための研修を行った。 ・講師：元姫路人権擁護委員会長 ○実施内容及び成果・課題 4月20日（金）各学校、各クラスの気になる児童の実態を出し合い、各児童の課題と個別のステップをそれぞれの経験などから話しあった。講師先生より、発達障害の児童の表出例や関わり方を助言してもらった。 5月18日（金）保護者の思いと就学指導 発達障害の子どもの保護者の話を聞き、保護者の願いや出席者の体験を話しあい、保護者の方に伝えられることは何か、伝え方を実践させてもらった。また講師先生からは関係機関との連携のあり方を助言してもらった。 6月15日（金）支援学校の先生から、重度の障害の児童の実態と関わり方を教えてもらい、児童に寄り添う基本的な姿勢を学ぶことができた。 7月20日（金）1学期を終えて、気になる児童の成長と教師の関わり方を振り返り、2学期を見通した各行事の参加の方法やそのための教師の関わり方を探ることができた。 8月17日（金）「いじめ」「不登校」の実態を学び、さまざまなケースについて話し合った。講師先生から、問題行動を繰り返す児童への肯定的な関わり方教えてもらった。 9月21日（金）児童の障害ごとに対応する学習指導の工夫 読み、書き、言語、計算についての指導の実践を持ち寄り、理解しにくい児童にどのようなステップを用意して、目標を達成することができたか報告し、個別の児童に対して次の課題に向けて、どんなステップを計画するか考えた。 10月19日（金）「いじめ」につながる児童の行動から、どのような「こころの学習」をすることが、悲しい思いをしている相手の気持ちを理解できるかを考えた。参加体験型の学習形態を取り入れた指導方法を話し合った。 11月16日（金）相手の気持ちを考える時間となる「いじめアンケート」の内容項目を考えた。 今後、1月27日（日）の『第12回子どもフォーラム』に向けて、パンフレットの作成と参加者の募集、会場等との打ち合わせを進める。